



19時からパパも子育て

子育てしやすいように職場環境を整えることは、従業員のやる気創出や業務の効率アップが期待できます。こうした取組の積み重ねが少子化克服への一歩です。子どもは社会の宝。仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに会社全体で取り組んでいる企業へおじゃましてきました。

石垣鐵工株式会社（大館市）

業種:製造業 従業員数:62名
<http://www.kaidan.co.jp>

「難しい階段づくり世界一」を目指す、鋼製階段の専門メーカー。小坂鉦山事務所（秋田県）、三沢航空科学館（青森県）など、丈夫で美しい階段づくりに定評があり、全国各地に施工実績があります。

次世代に生き残る企業を目指し
若手社員とともにマニュアルを作成中

石垣鐵工では、これまで先輩から直接指導を受けて技術を身につけるのが主流でした。設立30周年を迎えた今年から、社員教育マニュアルの作成に向けて本格的に動き出しました。

「少子高齢化社会で優秀な人材を育てていくためには、生活面での充実が必要不可欠です。所定外労働の削減もその一環。作業環境をよりよい方向へと改善させ、事業を未来へと継承させたい」と、石垣代表取締役はその理由を語ります。

現在週2回のペースで開かれている「マニュアル向上委員会」では、20～30代の若い従業員も委員として参加し、積極的な意見交換を行っています。



●従業員から
(営業 渡部さん、総務部 加賀谷さん)

未来の後輩たちのために、今できることを

「作業の効率化に向けて、会社の問題点を洗い出しながら、話し合いを進めています」と渡部さん。残業時は事前申請を行い、遅くとも19時までには帰宅します。「独身の頃は失うものが何もなかったけれど、今は家族を守っていきたいという気持ちが強いですね。子どもたちとお風呂に入っておしゃべりをするのが、毎晩の楽しみです」。

「土日は妻が仕事をしているので、私が二人の子どもと一緒に過ごしています。小さな子どもを持つ同僚が多いので、職場でパパ同士の情報交換をすることもよくあります」と加賀谷さん。渡部さんと加賀谷さんは、マニュアル向上委員会のメンバー。「後輩や未来の従業員たちが、仕事も子育てもしやすい環境を整えたい」とのことです。



●職場から
(石垣代表取締役)

企業も家族も、幸せであるように

仕事の将来展望や希望を持たなければ、子どもは増えていかないのでは、と感じることがあります。当社は、結婚や子どもの誕生など、人生の節目において仕事に対する責任感やモチベーションをさらに高めてくれる若い従業員に恵まれています。

マニュアル向上委員会を立ち上げてからは、それまではあまり話す機会がなかった従業員たちともコミュニケーションをとれるようになり、社内の風通しが良くなっています。同じ会社で長い年月をともにする従業員たちは私にとって、家族のような存在です。だから、今まで以上に給料を上げ、家族とゆっくり過ごせる時間を提供したい。残業を減らしながらも、仕事の効率や実績を上げる方法を確認するためのマニュアルづくりでもあります。



効果が見られた点

- ◎役職や世代を超えた話し合いで風通しが良くなった。
- ◎仕事の効率を意識する習慣が少しずつ浸透している。